

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県鶴見警察署協議会
日時	令和5年5月12日（金）午後2時から午後4時5分までの間
場所	神奈川県鶴見警察署講堂
出席者	<p>1 警察署協議会側</p> <p>副会長 千葉 恵右</p> <p>委員 遠藤 一郎 金子 實 菊地 身知子 門倉 卓雄 田部 博</p> <p>谷 亜由美 福田 秀雄 武藤 晴雄 小林 政仁 檜山 明子</p> <p style="text-align: right;">計11人</p> <p>2 警察署側</p> <p>署長 飯塚 博史 警務課長 中村 真也</p> <p>副署長 相川 努 生活安全課長 梶原 祐貴</p> <p>地域担当次長 松沢 英之 交通課長 市原 祐一</p> <p>刑事生安担当次長 山口 晃央 警備課長 橋本 和則</p> <p style="text-align: right;">計8人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	「警察における災害対策」について
	1 答申
	<p>(1) 地域住民が行う防災訓練への積極的な参加</p> <p>(2) アナログでの情報発信</p> <p>(3) アクティブ交番の活用</p>
	<p>2 措置結果</p> <p>(1) 地域住民が行う防災訓練への積極的な参加</p> <p>警備課長が各地区の町内会で挨拶を行い、横浜市の防災計画に基づいた地域防災拠点での設置運営訓練に参加した。</p> <p>(2) アナログでの情報発信</p> <p>発災時にはツイッターやメールでの情報発信が難しいことから、発災時にはパトカーや白バイ、航空隊のヘリコプター、災害用の二輪車等を活用して発災地域に逃げ遅れた方がいないか、もしくは必要な情報の伝達を行う。</p> <p>(3) アクティブ交番の活用</p> <p>地域防災訓練に参加した際、実際にアクティブ交番を持参し、機能や積載物について説明を行った。発災時には避難所となる地域防災拠点に配置し、警察官が巡回し、市民の不安を払拭する。</p>
	諮問
	「自転車事故防止対策」について
	答申
	<p>1 小学生・中学生に、安全教育を反復継続して受講してもらい、終了証を発行する。</p> <p>2 パトカーや移動交番で街広報活動を通して交通ルールを周知徹底する。</p> <p>3 取締りの強化を通して交通安全に対する意識の強化を行う。</p>
	業務説明

	前四半期（令和5年1月から3月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年4月から6月まで）の業務推進重点について説明を行った。
備 考	視察
	「白バイ乗務員紹介」 当署の白バイ乗務員2名によるデモンストレーションの後、同員の紹介し、質疑応答を行った。
	視察後の協議会からの意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・1300ccの白バイを軽々と操る腕前に驚いた。 ・白バイも乗務員も格好良かった。